

# <奈良県MICEブランドタグラインの概要>

【別紙1】

## 奈良の特徴

- ・日本の歴史や文化のはじまりの地
- ・1300年以上もの連綿と続く歴史を有する地
- ・先人の知識や古代の知恵を守り続けてきた地
- ・日本最初の首都

## 奈良の歴史

- ・「日本」という国号を初めて使用（7世紀末）
- ・法制度を定め、新しい国づくりに着手（7世紀末）
- ・日本最初の貨幣が鋳造（7世紀末）
- ・日本最初の本格的計画都市が造営（7世紀末）
- ・日本最古の歴史書や歌集が編纂（7世紀後半～8世紀後半）
- ・世界最古の木造建築物である法隆寺（7世紀末建築）をはじめとした社寺建築物
- ・シルクロードを通じて受容してきた多様な文物が正倉院宝物として伝世

## 奈良がMICE主催者・参加者に提供できる利益

- ・古代技術や知識を体感できるユニークベニュー、プレ・ポストツアーを実施することができる。
- ・1300年の歴史を持つ地で参加者と地域の人々と伝統工芸や文化、知識の交流が実現できる。
- ・僧侶や研究者など奈良ゆかりの知識人や著名人による講演ができる。（基調講演などでいつもの会議と違うものにする・格調高い会議になる）
- ・日本のはじまりの地であり、今もその歴史が生き続けている奈良の特性が、会議の価値やイメージ向上に貢献する。
- ・古代先端都市と近代都市の融合した環境が参加者にインスピレーションを創出させる。
- ・様々な出来事を乗り越え現代まで続く伝統・文化は歴史ある企業・団体のコンセプトとマッチする。

## キーワード

1. はじまり 2. 祈り 3. 奥深さ 4. 古代の知恵

## コンセプト

- ・奈良県は、今日に至るまでの日本の国家の基礎や、歴史・文化の礎が築かれた「日本のはじまり」として知られる地である。その歴史は1300年以上にも及び、現代にまで受け継がれている正倉院宝物や多くの社寺、伝統芸能などに代表されるように、先人の知識や古代の知恵を守り続けてきた地でもある。
- ・また、奈良を育ててきた歴史や文化、信仰、自然は奈良の懐の深さを生み出す要素となり、あらゆる時代において人々に様々な英知やインスピレーションを与え、多くの人の心を魅了してきた。
- ・「日本のはじまりの地」であり、「古(いにしえ)の知恵」が現代に息づく日本で唯一無二の特長を持つ奈良は、過去から今に至る歴史を活かし、MICE開催地として新たな歴史と未来を創造する場所となることを目指す。

## タグライン

**Nara. Japan's Cradle of Wisdom(訳:奈良－知恵を生み育む日本のまほろば)**

「cradle(ゆりかご・受け台)」とは、何かが育まれた生誕地・発祥地を指す。日本の歴史・文化の礎を築く知恵が育まれた地としての奈良を表現するのに適した言葉であり、過去と現在両方が結びつく言葉である。